滿州日報

集市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
集市共上車三十餘輛
邊車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　一連
一フールスカツプ　全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚綴　十四錢

一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一簟笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戶棚　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十二圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertisement … Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

料
一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

○報價目
每月收敢八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日者每行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番支配人室　百八番事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
營口丸　廿六日　太沽、芝罘、門司神戶行
山東丸　三十一日　太沽、芝罘、門司、神戶行
相模丸　六月三日　太沽、芝罘、仁川、釜山長崎、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
日勝丸　廿三日　門司、橫濱行
鎭海丸　廿六日　門司、橫濱行
摩耶山丸　廿六日　門司神戶行
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
盛航丸　廿四日　門司橫濱行
代理店　ブランユ兄弟商會　東營口公園地横　遠來洋行（電話二十三番）

⁂宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋陽火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意想著明有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人　田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番　住所五五番）

⁂東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡帆輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜倘蒙有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人　葉亮卿謹白

⁂東永茂
號再油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週通知之　正理事　潘玉田　副理事　金德魁　設在營口西北街路南

⁂西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

⁂仁裕號
保裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

⁂丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸　丸三洋行分莊謹啓

⁂永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許設運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

⁂代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒谷）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆治來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　順朝丸　專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本淸酒一概俱全另有淸國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷　松茂洋行（電話五十二番）

⁂矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商惠顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡鏡婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街　電話百三十七號　本行主人啓

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

鐵道遼河 裕和盛運輸局
（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝連貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需　局本主人啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨皐交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃開設　營口南永世街北斗洋行
西　營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專館之約凡新聞紙料印書精各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張一本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也　中井洋行

志岐組木料棧材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

飯塚工程局材料部
營口元神廟前
（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許　丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

•廣•告•
大•阪•鐵•田•組•支•店•開•設•
今度新に內地より技師及職工を傭聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らず御注文の程奉祈上候
假事務所營口西北街高砂ホテル內
主任　鐵田米吉

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船賴朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸中國丸の四隻を以て大坂、神戶、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿州內地には左の箇所に出張所を設け**海陸及輸送輸出入品委托販賣業**に從事仕候
猶東淸鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候に付き陸續御用仰付被下度候也

本店　大阪市西區西道頓堀貳丁目　河邊商店
支店　營口元神廟街　松茂洋行
大連信濃町百十一號　松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路　松茂洋行出張所
鐵嶺西門外　松茂洋行出張所
昌圖府驛　松茂洋行出張所

東京電報

●鐵道祝賀會の盛況 二十日名古屋に於ける鐵道五千哩祝賀會の參集者千餘故人岩倉右府川上參謀總長等の靈位に報告祭を爲し平井委員長及び伊藤大隈及び加納子爵の頌功表を朗讀し兒玉參謀長の音頭にて陛下の萬歲を三唱し頗る盛會なり

●愛國婦人會總會 愛國婦人會第五會總會を昨日新宿御苑に開く皇后陛下より將來本會の益ゝ盛大ならんことを望むとの令旨あり廢兵及び遺族總代に御賜金ありたり

●露國總領事の着任 橫濱駐在露國總領事今日橫濱到着の豫定なり

●諸星の往來頻繁 首相の歸朝以來伊藤山縣西園寺及び井上諸氏の間に往復頻繁織るが如し滿洲經營及び豫算の方針に關する內議なりと傳へらる

●川上貿易事務官の到着 川上貿易事務官十八日浦鹽戰德に到着し米國事務官の委任事項引繼を爲せり

（以上五月二十一日發電）

●獨乙大使の參內 新任獨逸大使ムンム男は今日午前參內信任狀捧呈二十四日謁見陪食仰付らる

●四中將昇進說 立見大島大迫寺內の四中將は大將に昇進すべし

●師團長の更迭 七月頃全國各師團長に更迭あるべし

●境界委員出發期 樺太境界確定委員は來月初め東京を出發すべし

●獨立經營案の調製 目下在京中の園田長官は北海道獨立經營案の調製中

●香取艦受領濟 英國バアローに製造の軍艦香取は二十日我回航委員受領濟來月七日回航の途に就く

●長距離電話好成績 津輕海峽長距離電話試驗は好成績

●新關稅と國貿易 華盛頓にて發表せる橫濱駐在米國總領事ミラーの報告書は日本新關稅の目的を以て太平洋の商業場裡より外國の貿易を驅逐するに在り從て米國の利益に影響大なりと言へり

（以上五月二十二日發電）

北京電報

●官民聯合商會 奉天開放後の滿洲商權を握らん爲め商務局は官民聯合の商會を設立せんことを請ひ皇帝の允許を得たり

●阿片禁止規則 袁世凱は阿片禁止規則の編成を了り不日發布すと

（以上五月二十二日發電）

倫敦電報

●海軍砲長の聲明 米國海軍砲長メーソン少將は米國議會の吝嗇なるために米國海軍は豫備砲及彈藥を有せず而して現今所有の彈藥は戰時に於て全海軍が三時間需用を供給すると能はず是國家に取りて恐るべきことなりと聲明せり

●平和會議の開會期 海牙に於ける平和會議は一九〇七年五月後に開くことに殆ど決定せり

●ズール叛徒の內牒 ズール叛徒の一人某英國將校に內牒して曰く會長レガナンダ及其他の有力なる會長は降參せんことを渴望す彼等は英國軍隊の敏活なる行動に感服せり土人の婦人にして降參せる者は曰く土人の計畫は英國陸軍の猛進の爲めに全く失敗せりと

（以上五月二十一日發電）

雜報

●旅順忠魂碑の建設 旅順の海陸包圍攻擊は世界戰史ありて以來の最大激戰なり之が爲め命を鋒鏑の下に殞したる者數萬人時の海陸兩軍の各司令官東鄉乃木兩大將乃ち發起者と爲り戰死忠魂紀念碑を白玉山頭に建て其偉功を百代に表彰し以て英靈を慰めんとし此程該忠魂碑建設中央委員星野砲兵大佐より當營口瀨川領事宛募告を送附し當領事館に於て義金募集取扱方を依賴し越せるを以て左に其全文を掲載す

旅順忠魂碑建設募告

日露戰役中旅順要塞ニ對シ陸上及海面ニ於ケル激戰ハ曠古未タ曾テ見サル所ニシテ此間殉難忠死ノ戰友萬ヲ以テ算ス今ヤ平和克復セラレ皇師凱旋セシヲ以テ生等相謀リ旅順白玉山頂納骨堂ノ陽ヲトシテ忠魂碑ヲ建設シ此作戰ニ於テ戰死病歿シタル陸海軍諸子ノ英靈ヲ慰メ其遺烈ヲ千載ニ傳ヘント欲ス江湖ノ諸君冀クハ生等ノ微志ニ贊同セラレンコトヲ

明治三十九年四月

發起人

海軍大將 東鄉平八郎

陸軍大將男爵 乃木希典

前記兩大將の趣旨に基き陸海軍有志諸君は勿論廣く江湖の有志各位の御贊同を得て可成壯嚴雄大にして陸上海面より遼望し得るが如き一大歷史的忠魂碑を建設せんとす御贊同の諸君は左記の要領に依り應分の資を投せられんことを請ふ

明治三十九年四月

旅順忠魂碑建設中央員委

陸軍砲兵大佐 星野金吾
仝 佐藤鋼次郎
陸軍一等主計正 大野賢一郎
陸軍步兵中佐 塚田清市
海軍中佐 秋山眞之
仝 舟越楫四郎
陸軍步兵少佐 隈部親信
仝 安原啓太郎
海軍大主計 中村綱吉

一、本建設に關する事務は東京青山第一師團司令部構內旅順忠魂碑建設委員事務所に於て取扱ふ

二、醵金は左の方法に依り便宜御取扱相成度

甲、拂込期日明治三十九年八月三十日限りと概定

乙、送金宛名海軍省經理局海軍大主計中村綱吉

丙、官公衙、軍隊、學校、團体、會社等は可成取纏め送金せられたし

丁、爲替拂込東京芝口郵便局、日本銀行、三井銀行、第十五銀行、第三銀行又は橫濱正金銀行東京支店內宛

●露國の極東通商擴張 商業界就中開戰前滿洲に巨額の物產を賣込み得たる商人は戰後日本人の商勢俄に膨脹して露國の極東市場を侵し露國の物產と同種の物品を販賣して露國の通商に對し激甚なる競爭を起さんとする勢あるを見て恐慌を起せるが此新打擊を排せん爲め數個の商會は西伯利全土黑龍沿道地方滿洲を始め日本にまで露國製造品を販賣する目的を以て一種のシンヂケートを組織したり、此シンヂゲートは多くの支配人に物品の見本を齎して極東に赴かしむると共に浦鹽港に於て商品輸送の爲め數隻の滊船を借入るへく其商品の重なるものは砂糖、製造品、石油、雜貨等なりといふ

●官線の收益激增 官設鐵道昨年後の益金は本月末ならでは正確を得難きも其概算を聞くに千二百五十萬圓にて豫算額の九百五十八萬圓に比し二百九十二萬圓の實收超過となり前年度の一千百四十八萬圓に比すれば百二萬の增收なりと

●無線電信會議 獨乙伯林に開かるべき萬國無線電信會議は木村技師對ルーメル事件等ありて多少感情の衝突ありしを以て某國の注意により來る十月まで延期せられたるよしにて木村氏の出發は八月頃となるべしと云ふ

●義艦製造契約 帝國海事協會の計畫に係る義勇艦隊の滊船一隻は愈々十六日長崎なる三菱造船所に製造契約を了したり同船舶の構造は總噸數三千噸長さ三百三十五呎幅四十三呎吃水十七呎速力二十一節にして武器は六吋速二砲射門前後に一門宛十二斤速射砲六門兩側に三門宛を裝置すべく計畫せられたり

●奉天省內の巡警兵 奉天省內に於ける各地の巡警兵は現今左の如く配置され居れりと

承德	二〇〇	興仁	二〇〇	鐵嶺	二〇〇
蓋平	二〇〇	復州	二〇〇	金州	二〇〇
遼陽	四〇〇	開原	四〇〇	海州	四〇〇
新民	四〇〇	彰武	四〇〇	鎭安	二〇〇
錦州	四〇〇	寧遠	四〇〇	義州	二〇〇
廣寧	二〇〇	綏中	二〇〇	鳳凰	四〇〇
岫岩	二〇〇	寬甸	二〇〇	安東	二〇〇
興京	四〇〇	通化	二〇〇	懷仁	二〇〇
輯安	二〇〇	臨江	二〇〇	海縣	四〇〇
柳河	四〇〇	西豐	四〇〇	西安	四〇〇
東平	二〇〇	昌圖	五〇〇	懷德	四〇〇
康平	四〇〇	奉化	四〇〇	遼源	四〇〇
洮南	五〇〇	開通	四〇〇	靖安	四〇〇
安廣	四〇〇				

●遼陽電信の配達 遼陽公衆電報配達は其筋の都合により昨年十月下旬公衆電信の取扱開始以來今日に至る迄に二回即ち午前一回午後一回に郵便配達と共に之を配達し居れる爲め或る場合に於ては往々迅速を唯一の目的とせる電報の効力を失ふ等の事珍らしからず之が爲め邦人一部の人々は申合せ電報配達者を特定し其配達費用を負担せんと略ぼ協議纏まり居りたる折柄其筋に於ては電報配達人二名を特に定め到達の都度毎に配達せしむる事に目下詮議中なりといへば六月頃より實施するに至るべしと

●蓋平近海の警備 每年四五月の交に於て蓋平海岸に沿へる近海一帶には清國漁民の出漁する者幾千人に及ぶの常なるが是等は時々海賊に襲擊せられ掠奪を受くるを以て今回奉天將軍に於ては是等匪賊の迫害を防止する爲め黃知縣を派し且つ武裝せる四隻の小蒸氣船を以て海岸を警備する由なるが尙同海岸に到底清國人の手により警備の任を完ふする能はざるを以て日本人の助力を得て共同警備の任に當るべしといふ

●遼陽城內の小公園 同城內州署街清國衛生局前に爐灰山と云へる小丘あり俚言によれば數年前より附近の爐灰を棄てたるもの積堆して山をなしさてこそ其の實を名となし爐灰山と呼稱するとか今や其の面積一町餘位置は城內の中央にあり小公園として市民遊樂の地とするに適するより日淸人間に於て協議纏まり愈ゝ小公園となすに決定したるが不日其設備に着手し經費は日淸人の寄附金を以てする筈なりと云ふ

●遼河巡航船の開始 是れ迄牛家屯に往復するものは僅に輕便鐵道に由り又河北行は危險極まる舢舨にて渡行しつゝあるは一般の既に熟知する所なるが婦人小兒又は手荷物等の多き人は大に其不便を感じ殊に牛家屯午前二時着車の如きは夜中の事とて一層困難を生じ往々荷物紛失等ありて一般公衆の迷惑尠なからざりしが今度元軍政署に奉職せし小倉誠介氏東省巡航公司なるものを組織し一般公衆の便利を計らんが爲め小蒸滊船を以て西稅關前を起點とし河北、東稅關、牛家屯等に一日五回の航行を企圖し豫て其筋へ出願中の所此の程許可せられたれば愈々來る廿五日より業務を開業する由なり今其發船時間を舉ぐれば左の如し

第一回午前六時三十分 河北東稅關牛家屯行
第二回同 十時三十分 東稅關牛家屯行
第三回午後一時二十分 同
第四回同 四時三十分 河北行
第五回同 五時三十分 東稅關牛家屯行

又其賃金表左の如し

自＼到	牛家屯	東稅關	河北	西稅關
西稅關	卅錢	廿錢	十錢	
河北	卅錢	廿錢		十錢
東稅關	廿錢		廿錢	廿錢
牛家屯		廿錢	廿錢	卅錢

●遼輸株式の發起人會 去る二十日日本人會々議室に於て其發起人會を開催し一二の不參者ありたるも他は悉く出席し席上定款を作成し逐條審議に附し其決議したる概要を聞くに社名は遼河運送株式會社と稱し資本金額を十五万圓となし一株を百圓となし發起人の持株一名に對し五十株又現在の輸送業者には二十株の優先株を與ふる事に一決せりと云ふ因に該株式會社の計畫は大に規模を擴張し船舶を所有し倉庫棧橋等をも築造する由なりと云ふ

●清國官憲の遼河測量 奉天省巡警總局工程委員應大銘、程乘鈞の二氏奉天將軍の命に依り遼河一帶の河川測量の爲め去る十八日奉天出發其途に就けりと云ふ

●暗號電報の開始 日露交戰後一般公衆の暗號電報は停止せられたる所最早平和克復の今日其筋に於ても其必要を認められさる事となり愈々本日より一般暗號電報を使用するも差支なしと云ふ

●苦力のストライキ（牛家屯） 東淸鐵道輸送業者全体の推選に依り江村某は牛家屯に於ける鐵道輸送貨物の積卸を一手に引受け日々數百の苦力を使役しつゝある事は豫て報道せる所なるが一昨々日突然苦力等一同ストライキを起し思ひ〳〵に散亂せりと云ふ今其眞相を聞くに是れ迄江村某の彼等苦力に支拂しつゝある賃錢は豫て約束せし賃錢と多少差違ありたるも種々の口實を設け今日迄一向應せざるより斯くは强硬なる態度を執り俄然同盟罷工を企てたるなりと云ふ而して其後一二の人其間に入り居中調停を試みたる結果漸く昨日無事解決一たび四方に散亂せる苦力共は從前通り積卸に從事する事になれりと云ふ

●民政長官の巡視 石塚民政長官には金州廳管內巡視の爲め浦警視入澤事務官等を隨へ昨廿二日大連を出發せる由なるが其日數は約一週間の豫定なりといふ

●滿洲通信社の擴張 豫て內地電報を取寄せ組合員に配布しつゝありし同社は今回更に當務を擴張し一般實業に關する通信をも開始し之が爲め記者一名を募集すると爲れる由なるが營口及び其他の各地に在る實業團又は商業家にして此通信を受けんとする者は至急同通信社へ申込まるへしとなり

●小松政一氏 伊賀の農業家小松政一氏は滿洲農事視察の爲め一昨日來營せり

●渡瀨寅次郎氏 東京興農園主の同氏は滿韓農業視察の爲め此程來營目下加藤洋行に滯在中

●日置藤夫氏 安田商事合名會社西成紡績所長の同氏は綿絲業視察の爲め技師西川福馬氏同伴去二十日來營せり

●廣島縣人會 過日營口ホテルに於て開催せる廣島縣人會は來會者少數の爲め何等の成議をも見るに及ばずして散會せし由なるが更に第二次同縣人會を來る二十五日午後五時より開催し活動上に就き協議を遂ぐる由會場は前回の通り營口ホテルなりといふ

●昨日の出火（綿布倉庫の燒失） 暖爐は巳に物置小屋に葬られて火災の危險漸く減せんとする今日此頃、昨は沒陽の出火を報じ今又營口の出火を報せんとす油斷の出來さるは火災なる哉昨二十二日午後五時頃警鐘の響に驚かされて戶外に出づれば近く西方に當りて黑烟の焰々天に漲るを見る行人皆走つて西に赴き軍政署及び消防組のポムプ亦皆西に向ふ乃ち知る火は東盛和の北隣與順魁の倉庫より起れるを與順魁は支那雜貨を業とせる西營口有數の紳商なり庫中綿布を堆積す黑烟の今頻に天を焦がせるは此倉庫と此綿布との燃えつゝある也時は五時なれば尙白晝なり遼河は現場を隔つる僅に數十間水の手寄は惡しゝと謂ふべからずポムプは軍政署及び營口消防組の外支那式龍頭水二十餘臺あり消防器備らざるに非ず消防夫亦努めざるに非ずと雖も一たび庫內の綿布に燃え移りて容易に消し止むへくもあらず火起りて三時間此稿を草し終る迄尙盛火の模樣を見ず時々警鐘の亂打を聽く恐らくは山積せる庫中の綿布を全く燒盡せるならんか（夜八時半稿）

●人の噂（六） 利源調査とか、商業視察とか、色々の名稱を付して、來りたる者、樓指するに遑ない、其のお連中には、隨分に漫調疎の査あり、見途違の取調あり、甚しきに至ては、此方の說明さへ、譯らぬ先生方もある▲其先生にして無口であれば、またしもなれど、饒に旅費の無心を云ふたる義理あればとて、駄法螺の報告書を作り、或は新聞に無駄口を叩く、特に地方の先生方は、カラお咄にならね、是等の說を妄信して、事を謀れば、頓んと災厄に陷る、御用心々々▲利源調查連にても、比較的官吏の方かものになつて居る、其內でも外務省の船辰一郎といふは、支那通で、規則立て調査すれば、最も正しいと思ふ▲又た民間では、大坂朝日の安齋源一郎は、內藤湖南氏や、小手登、富塚玖馬の如き、小人國人種なれども、中々敏捷に働き、東淸鐵道を往復する七八回、公主嶺まて單騎旅行する豪傑、先生は滿洲經營の大勢を達觀する明なくとも、個々の商況取調は、其の專門である▲代議士連中の取調は、多くは駄目、奴さん威張ること、我儘云ふこと、實效の擧らぬことは、其特徵なりと聞く▲或は謂ふ、滿洲經營を呶々する人は、多く一家の經營が六ケしいと、蓋し知言だ▲松濤居士は、臺灣に一寺を建立して、鎭南山臨濟寺と稱し、安東縣にも鎭江山臨濟寺を建立した、而して又た昌圖に於て、寺院を捌立するとのこと、其寺號は、馬賊山政心寺とするか適當であらう、梁の武帝は寺を建つるを大功德とせしに、達磨大師は「無功德」と罵る、什麽生、居士の造寺は、馬賊懷柔の功德なるや、喝

●撿黴免除出願者の增加 近頃旅館料理店の藝妓下婢等撿黴免除を出願するもの非常に多く日々居留民係の机上には三四件宛ありと云ふ今彼等が免除出願書の內容を見るに總じて一家內の帳場又は主人の妾となる理由を附し出願せり現に昨日の如きも玉酢樓藝妓朝鮮事上金アイは樓主の妾となる理由を附し松迺家下婢おあさ事格田アサは同家居住の山本寬二の妾となる理由を附し又高松亭下婢松本シンは同家の下働きなる理由を附せり事實の如何は吾人の知る所にあらされども近頃道路の風說に依れば暗に健康診斷を厭ひ表面種々の口實を設け免除を出願する者多きよしなりと云ふ眞僞果して何れなるべきや記して後日に徵す

火車時刻

關內外鐵道

上り
營口發 前八、二〇 七、〇〇
溝幇子同 九、四五 九、〇〇
錦州同 后三、四五 二、〇〇
山海關 六、〇〇 八、一〇

下り
山海關發 前七、〇五 四、四五
錦州同 后三、三五 二、〇五
溝幇子同 二、四五 四、四〇
營口著 四、五五 七、五一

山海關發 前八、一五 五、〇〇 北京發 前八、〇〇

東清鐵道

新民屯發 前六、〇〇
溝幇子着 同九、五七
溝幇子發 后三、〇〇
新民屯着 同六、五七

上り
營口發 前六、三五 后九、三五
大石橋着 同七、三〇 一〇、三〇

下り
大石橋發 前八、一五 后一一、一五
營口着 同九、一〇 一二、一〇

大石橋發 前八、〇五 后一一、〇五 大石橋發 前七、三五 后一〇、三五

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工

川喜鐵工

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに由へ料理をも始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃
營口二本

梅迺瀧 田村

西海洋服店
歐米各國最新流行形
（電話百二十）

天氣豫報

營口地方天氣豫報 自二十二日午後六時 至二十三日午後六時

南の風晴れ

●露國人の見たる大觀兵式

在留露國文學士某かスピルカ(針路生)の匿名の下に露字新聞に投じたる日本帝國凱旋觀兵式の記は能く露人の感慨を發表したるものにしてこの觀察も亦頗る興味あるものたり左に全文を譯出せん

我露軍を打破れる日本軍の觀兵式は日本皇帝陛下の御前にて去る四月三十日なる天氣清朗の日に擧行せられたり我等は露國に於て常に行はるゝ如き官僚政治的なる身元證明書、入場券下附願等の多數の書類を御役所に呈出し再三再四の出願を要する事なく一枚の名刺に依りて直ちに入場券は下附せられたり而して日本當局は余が數ヶ月以前まで惡敵として戰ひたる露國人の一人たるを知れるなり、嗚呼我か露國政府には果して此の如き宏量あるか、余等は午前七時には青山式場の設けの場所に在るへく注意せられて、ホテルはサンドウイツチを籠に容れて我等に交付するに多忙なりき其籠を手にして我等は數萬の拜觀者と共に青山に至れり而して此の籠の中には若しや爆烈彈や短銃の隱されはせずやと憲兵と巡査とか血眼になりて搜索取締を爲す如き繁雜は無かりき、一般は平和に一般を信し、一般は一の猜疑なし嗚呼若し露國ならんには一個の籠如何に多くの手數を煩はせしそ、官吏は此の籠は危險の伏在せるものとして恐らく沒收せられしや必せり大禮服の日本官吏は數十人歩を青山へと運へり我等は此の禮服の多きを見る毎に露邦に在るかの如く感したりされと不思議さよ、一人の憲兵もなし、巡査はあれと其の巡査は罪人製造を職とし恐ろしき顔付きの半獸的巡査にあらずして平和の巡査なりき嗚呼露國なりしならんには如何に多くの憲兵巡査か禮服の人を保護する爲め惡魔の働きを爲したるそ

三四十年以前には地理圖上にのみ示されたる一小日本を世界に於る大日本ならしめたる日本皇帝陛下は御着あらせられたり　日本皇帝陛下は今にも刺客の手に仆れつへき運命を恐れつゝ神經的恐怖の顔色ある我か露帝とは天地の相違あり　日本皇帝陛下の御顔には平和と滿足の色あり此の平和と滿足の色より成れる陛下と、安心と歡喜とに滿てる日本國民とは相合して露軍を打破れり　陛下の御乘馬は決して露帝のそれの如く疾驅せす最も徐々に進行せり、嗚呼露國にてあらんか、皇帝と其の乘馬は一秒たりとも國民の前を過るの遲きを危惧し疾足したらんものを！

此の貴ふへき日本皇帝陛下の前には數千の士官立てり而して此の勳章は背部に受けたる傷の爲め頂戴したる勳章に非す、此の勳章は彈丸の飛ふ平地に俯して僅かに生命を全ふせる爲め頂戴したる勳章に非さるなり嗚呼露國ならんには宮中にて電ケ打つの將軍あり堅砦を敵手に渡して他國の皇帝よりブール、メリツトを受くる連中のみの勳章輝きしならん

此の貴ふへき日本皇帝陛下の爲め「萬歲」は數萬の民より叫はれたり而して此の「萬歲」は政府官吏か豫しめ命令し置きて何時何分「萬歲」を叫ばすんは西比利亞に流竄すと布告せられたる止むなく發したる「萬歲」に非す、否、民か自由と誠意に何等の勸告なく發せられたる「万歲」なりしなり嗚呼露國ならんか、此際如何に多くの萬歲命令に違反したる罪人を出しけん

此の貴ふへき日本皇帝陛下の前には一將軍の白馬に跨れるを認めたり白馬よ、此の白馬こそ我がステツセルか贈れる白馬たり此の白馬も語あらは語るへき、露國の恥辱、遼東一角の失敗、否とよ大なる露國の大罪惡は語られん、嗚呼氏の白馬幸にして人語を語り得さるこそ露國至大の幸福なりけれステツセルの白馬が語らんとする露國の恥辱や聖女の隊セラヴインの聖手に依りても浄めらるゝなし白馬語らす、降將罪なし、嗚呼如何に大なる露國は幸福なるぞや

●二等室の西園寺侯

西園寺侯の今度滿洲行きは表向きにすれは大業な待遇の何のと清國政府を騷かすか氣の毒なりとの遠慮あり内外に沙汰なしの忍ひの旅行なりしも最早内國へ歸り途の今日となつては微行の公行のと憚ることはあるましとのことにて十三日午前九時四十九分神戸最急行の列車にて若槻次官酒勾局長等と京都に着したる首相を出迎ひたるは高木警務長、大谷本願寺執行長、顧問赤松連城師、同藤島了穏師及ひ木屋町大可樓の女將等五六名なり當日の侯の扮装はずつと砕けて黒の三ツ巴の紋付羽織に仙臺平の袴を穿ち神戸にて刈りたるものか髪は刈たてにて清々と見え二等室に乘りて窓より挨迎者に挨拶をなし居たり、此日は折柄の雨降りにて薄闇く鬱陶しき停車場中に脊の丈け一際低き藤島了穏師か雨天のこととて恐ろしく高き木履を穿ち窓の外より伸上り乍ら侯と大連本願寺別院の視察談をなし居たるは無難義ならんと可笑しく見受たり、續いて人目を惹きたるは大可樓の女將にて遠慮なく愛嬌を振撒き乍らペコ〳〵と御辭義をなすにぞ侯は笑顔にて挨拶をなし居られしが女將の今日の出立ちは至つて澁いものにて一寸見にては女將などとは見破られざりしより知らぬ人々は某貴顯の夫人ならんと噂し合ひたりしも滑稽なりき夫より侯は矢張り二等室の儘名古屋に着きて一泊十四日午後一時廿二分名古屋發の最急行列車にて歸東されたるが此の列車にも亦一等に乘ることが出來す二等室にて遂々東京まで歸り着きたり荷くも首相の公けの歸京に二等車とは變なことゝ探つて見れは夫れも無理ならぬと神戸發の一等室は已に前日より借切りの約束あり切借れる其人は誰あらう東宮妃殿下の御機嫌伺ひとして東上せらるゝ本派本願寺法主の裏方籌子の方にて京都を九時四十九分乘込のことと極り居れば今更どうすることも出來ず次の十四日午後一時二十二分名古屋發の最急行列車はまた素から一等室がなき爲に遂こんな始末となりたる譯なるも寬濶洒落なる侯のことなればそんなことは何とも思はぬ風にて快よく談笑の間に本邸に着せられたるは流石に氣の利いた平民的な人柄と今更らながら感服する人もなきに非りき。

●奉天たより　　野兎生

▲當地支那官吏の服制改正で辮髮に洋服は聊か異觀であるが自分は雙手を擧けて大贊成を表するのである文明の輸入と言ふ事は隨分困難のもので我大日本帝國の三四十年前を見給へ殆んど今の支那と大差かない要するに最も注入し易き服装から取掛る者一の方便である大いに、ハイカーラを氣取るもよい、シガーを吸ふもよいサーベルを帶ひるもよい序でに辮髮を斷るは最もよい如斯外形丈にても文明らしくなれは自ら知識の發達を促すとになる隨て博く學ふの必要を感し知らず〳〵の内に眞の文明に近つくのである

▲斯く爲れば其最もより近かき日本の文明を輸入するは自然の趨勢であるからサーベルも日本製石鹸も日本製齒磨も靴も總て日本でなければ夜は明けぬと來る筈だか其處が宛事と越中はの諺もあるから我々日本人は充分此邊に心を用ゆるの價値がある

▲併し目下の支那は種を蒔いて之に培ひ花が咲いて實の熟するを待つより接木をするの手取早きを尙ふの時機である兎も角我々は共同一致煽り立てゝ〳〵單に外形丈けにても文明的にさせたらば間接に得る所尠少でないと考へる

▲「支那馬日本婦人をふると」でも標題を附すべき乎昨日午後四時頃丁度姐さん方のお目覺遊ばしてお化粧を濟まし御客來を待つ間の所作なるよりか旭館のお轉婆裙が門口へ御出現ましまして折柄筋向ひの飯塚工程局の支那人二十人計り白馬を取圍んで喃々するを御覽じ你や〳〵と片言雜りに談判あらせられ姫御前のあられもない其馬に乘せて貰ひ一二丁大西門の方へ曳かせ遊ばした迄はよかつたが今迄乘せるが專門の御娼賣柄乘り心地が好かつたか將た又支那馬は組し易しと思し召したか你や不要緊〳〵と支那人を遠け給ふや馬は得たりと元と來し方へ一足飛びアレーと言ふ間もあらばこそスツテン轉ろりと眞逆樣大事のお道具を丸出しに落てち給ひけれは馬も偵に立ち止まり一足戻りて小頸を傾け尻目に見遣りたる所は寫眞機械を持合せさりし我れの如何に殘念さよ

▲扶桑館には十四人の紅裙鎮座ましまし中々賑々敷事でおぢやる就中粹樣先刻御承知の天津で有名の大砲字は亞羅比亞馬藝名駒六本名久子殿が近頃若返りヲツト跳ね出し給ふて毎晩惚ろけ散らし遊はすから側の者は唾の飛沫を受けて困つて居る樣子である

▲館主は堀田春女と謂つて曾て臺灣に嬌名を謳かし開戰後安東縣に來り大に辣腕を振ひ業弗且の御見出を被り當地に女將と倉め奉られし次第にて中々愛嬌たつぷり口八丁手八丁にて抱子共も聊か閉口の樣子である自分等は藝者や仲居の御取持ちより女將の待遇に預りたいと

▲停車場附近には連りに日本家屋か建築されつゝある是等は皆な例の御娼賈らしく見受けらるゝ此趨勢で數年を經たらば大きな日本人部落が出來るであらう其時には日本人町と言ふよりピー屋町とでも言た方が早分りがするだらう

廣告

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲妊婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

●●●●●●●●

一本院齒科開設（五月一日より開始）

齒科醫　兒島市郎

森病院（電話一五五）

大阪商船會社荷扱所
內外船舶代理保險借仲立　輸出入稅關手續

滊船出入港案內

日勝丸　廿三日午後出帆門司橫濱行
盛航丸　廿六日出帆門司直行
能登丸廿日午正出帆門司直行神戸行

御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業

西北街　德重洋行

今有賓州廳之東老營口街永增盛郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元內有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見付條錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

高野孟矩法律事務所

大連市監部通二丁目五百廿五番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋静岡橫濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

實業記者一名募集

但し二十五才以上四十才迄の男子にして志望の者は本月廿八日迄に履歴書を持參し本社を訪はれたし

五月二十二日　元神廟街四十四　滿洲通信社

美味安價西洋料理　牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

東亞同文會發行

前露清語學校々長　中野二郎　同講師　縣文夫　合譯

露國大藏省編纂

滿洲通志

洋裝八百頁〇定價金貳圓八拾錢〇郵稅　內地拾五錢　清韓卅五錢

特別割引（一千部ニ限リ金貳圓五十錢外ニ郵稅）

精密滿洲地圖及重要統計表入

本書ハ露國前大藏大臣「ウヰツテ」氏ノ監督編纂ニ係リ露國滿洲經營唯一ノ典經ト稱セラル

本書ハ各種專門學者ノ調査研究ニ成リ材料豐富觀察周到叙說正確滿洲ノ實情一讀炳然タリ

本書ハ滿洲ニ關スル多クノ著書中世界無比ノ良書トシテ政治家學者實業家ノ稱贊スル所也

發賣所　東京京橋銀座一丁目　大阪東區北久太郎町　大日本圖書株式會社

商標　㋖㋖㋖㋖㋖

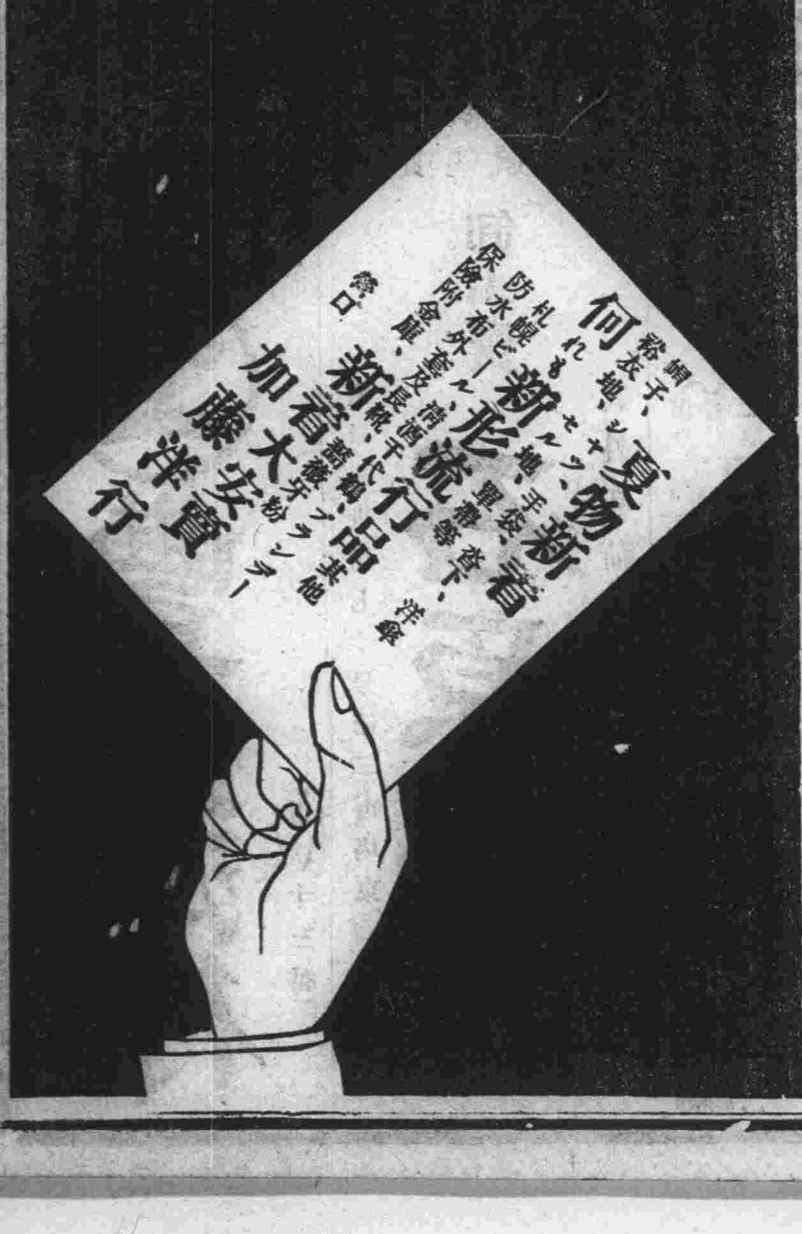
夏もの大賣だし

永世街第貳市場前

木村呉服店

五月二十五日より六月四日まで

抽籤ヲ以テ景品ヲ呈る



新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

ペンキ塗請負　京阪組
營口豊濟門街李俊宅前
榎本康平

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社 **營口分局**
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通九口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大清通運公司連接)東淸鐵道沿路概要各站分局現方在設備中
倘蒙惠顧貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特此
謹白倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司賣明按卸地市價包補此

第二回新荷着
恵比壽ビール
金舛洋行
盛進商行

御料理
板場新來丁料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ**雪月花**ノ會席ト仕餘打テ一團ノへ御意ニ從ヒナンデモゲンシンピヨガイデス
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓
仝　松吉
仝　二〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

千客万来

イロハ索引附
小辯　來原慶助君著
對譯清語活法
附錄　支那時文速知　全
袖珍用旭皮表紙頗る美釘紙數三百餘頁
(定價金五十錢　郵稅金六錢)
此書は著者來原慶助君が曾て陸軍通譯官として黑木軍に在りし際の陣中著述に係り高評嘖々たるは已に世人の熟知せる處刻下滿洲各地方に活動せらる、の同胞諸君乞ふ一本を備置せられんことを
東京市神田區裏神保町一番地
發行處　三省堂書店

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

東營口西北街
裕和盛
電話八番
東清鐵道
遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール　日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
內外煙草、葉卷
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣
彩票
毎月　大連　鐵嶺　南洋　湖北　發賣
本店　長崎
支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

發賣
材木　椋子　木板
塩川商會
遼陽小西門內
鹽川商會　●建築
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
外に用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也
洋區營口二本町二五五號
主任　鹽川峯吉
(電話一三六番)

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
御商
營口西北街
豊生洋行
(電話十三番)

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
御卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十号(第二市場東)
石原商店

一、税關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場時計北店三ノ二階樓
宮原公司

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月　日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店　**高砂ホテル**

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 **東京樓**
店主　熊田兼次郎
(電話百七十八番)
西洋料理仕出し御需に應ず
即席和洋料理　**東京樓支店**
(電話四十四番)

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to rder.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

大勉強
一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前銀三十錢より
一まめめし　御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
營口元神廟街二〇九號
月日
翁亭

會席料理
營口警務課前南に入る
三日月

銘酒劍菱
新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向と
池上出張店

和洋雜貨
盛進商行
新着
椅子　卓子。窓懸。
卓懸。花莚。マット。
油多加織。ビロードセン。

宮門抄

二十三日

吏部　翰林院　正黃旗值日無引見　吏部奏派驗看月官之大臣

派出奎俊　李殿林　李紱藻　胡燏棻　溥興　陸潤庠　麒德　岳

芰慶瀾　廣凞　汪鳳池　陳恒慶　徐謙　誠壽　惠銘　蔡金台

召見軍機

王步瀛遞封奏二件

上諭恭錄

二十三日奉

上諭廣東惠潮嘉道員缺着吳煦補授欽此

上諭錫良奏特參庸劣不職各員一摺四川永寧道周廷揆衰庸戀棧難資表率慶符縣知縣王寶章精力就衰難期振作均著開缺勒令休致候補道翁炯孫小有才能不明大体着以同知降選打箭爐直隸同知劉廷恕年老糊塗幾誤邊事另補知縣孫紹龍聲名甚劣尤善鑽營新都縣典史莊汝楫性情浮躁平武縣典史石錫炎不安本分均着即行革職新都縣知縣楊應鑾迂謬無能拙于治理惟文理尚優着以教職歸部銓選候補知縣陳世忠猥鄙昏庸不堪民社着以典史歸部銓選漢州知州王光昭濫事不勤致多竭蹶安縣知縣葉錫蕃沾染習氣馭下不嚴灌縣知縣耿濟瀛緝捕才疏不勝煩劇郫縣知縣丁惠澂才欠强幹整頓無方均着開缺另補餘着照所議辦理該部知道欽此

奏議

吏部奏遵議截取進士優加選用摺

奏爲遵旨議奏事本月初九日軍機處鈔交四川道監察御史王誠義奏州縣正途日少請將進士截取班優加選用以杜流弊而重民事一摺奉旨吏部議奏欽此欽遵鈔交到部查原奏內稱知縣一官民命攸關地方攸繫斷非猥瑣不學之人所能勝任現在停止科舉館選即用大挑各項俱已壅其本源而學堂甫設入學之士須俟十年以後方能學成入仕當此新舊不接之際非變通舊章廣爲選用勢必盡以雜流居民上於民生吏治大有關係除舉人五貢已由政務處籌議出路外擬請嗣後歸班進士及候補主事中書各項京官凡由進士出身改就知縣者照散館庶吉士由部屬改歸知縣人員到班時儘數選用如呈請分發者亦照進士即用分發各省統與即用舊班按科序補等因臣等悉心酌核所奏各節均係爲愼重牧令澄清仕途起見當此科舉停止學堂甫立新舊不接之時進士知縣一項仿照館庶吉士由部屬改歸知縣人員儘數選用未始非疏通正途之一法惟此項人員或由榜下歸班或由候補主事中書各項京官改就人數稍多非庶吉士散館部屬改歸知縣人數無多者可比若儘數選用漫無限制別班又未免壅滯亦非持平之道查進士知縣雙月到班選用五人單月到班選用四人捐納勞績本班先後各照正班額數插選計雙月進士正班選五人本班先後插選十五人單月進士正班選四人本班先後插選十二人正班人數少插班兩倍稍爲向隅擬請嗣後進士知縣雙月到班捐納勞績進士先勞績進士後各班插用五人後各接用正班五人單月到班捐納勞績進士先勞績進士後各班插用四人後各接用正班四人申在單月進士正班四人將來用竣應補用正班四人以足捐納勞績各本班先插用後各接用正班四人之數並俟勞績進士後插用四人後再接用正班四人以期與插班人數兩得其平其呈請分發者到省一年甄別後除升調遺缺病故休還缺即用進士應行班補各班均行查銷外其升調遺病故休還缺例定補班應按班跟接輪補到班時仍先用本班先一人本班先無人仍用進士先一人雜項留補選缺亦應以截取進士先截取進士與即用進士先即用進士輪補其即用進士應以抵補各缺如即用先即用無人亦應以截取進士先截取進士酌量抵補統俟試署一年期滿再請實授如此量爲變通正途即不患沈淪別班亦不至擁滯所有臣等遵議截取進士優加選補班次是否有當謹繕摺具陳伏乞

皇太后

皇上聖鑒謹　奏奉　旨依議欽此

中外要聞

●俄派員調查吉黑商務　俄國與外部會商東三省事藉端要挾故意遷延議約一面乘間經營江吉兩省已爲世人所共知也並聞俄京電云俄國商部爲擴充江吉兩省之商務起見擬在各要埠開設行棧並推廣俄國貨物銷路現已簡派莫斯科府富紳及商部官員以爲東三省商務調查委員認眞查核日間可以着手實行矣

●俄佔黑龍江礦之交涉　聞官場消息云日前黑省程雪帥月前特派劉道等赴該省礦產之地認眞查核據劉道將查核各礦一切情形詳細稟報內云黑龍江沿岸一帶礦產已經俄人派員强佔僱工私挖不免利權外溢等語程雪帥聞之大驚據情照會俄督嚴責俄人無法並速行歸還然俄人藉口托詞未肯照允故程雪帥日前電請外部照會俄使據理力爭以收回利權云按黑省礦產甲於天下俄人垂涎已久或以金匪滋擾藉爲口實或行賄地方官訂立合同以私佔礦產肆行採挖有不把握全省礦權不已之勢故必將乘戰餘之機償其素願已夙在吾人意料中然當道諸君不從速講預防之策遂見此結果果有如何對付之法吾儆之今後矣

●俄商擬開晶礦　庫倫辦事大臣延祉電奏聲稱俄商近在該地附近開挖砂金因虧累甚鉅刻已停辦現該俄商垂涎蒙古礦利頗有失于此而取償于彼之勢故在伊羅河地就原有金廠擬再集股二十萬盧布設立開挖晶礦公司運往庫倫售賣故俄商克爾德氏已回國招股矣或云克爾德雖名俄人實係波羅籍云

●出洋大臣回國期　聞出洋考察政治大臣澤公之隨員商部主政楊君有電到京云約於六月望日前後即隨澤尚李三大臣回京矣

●伍侍郎回籍之關係　伍秩庸侍郎奏請修墓已奉明諭賞假三月聞伍侍郎擬於本月杪出京回籍按伍侍郎精通西律絕世罕匹現正奉　旨派充修律大臣當此　朝廷銳意圖治之日修訂律例不可一日或緩然熟悉西律若伍侍郎如一旦告假回籍則修律大業亦不免遷就執筆人深望伍侍郎回籍修墓之後星馳回京以成就此大業也

●選委員勘界　英國外相克列君現於議院申明政府已經接到由土國覆答土國一律允從英國提議故於政府毫無隔膜當於日內選定委員查勘境界但將自羅菲杜東南地方起抵亞喀巴灣三里左右止查該境界仍照舊例不妄行改移想此次勘定辦法當能解決庶免轇轕而有滿意也

●俄國會期罷議　俄國議會緩期冬期一律停議國務係因俄皇不肯頒佈大赦故也

雜報

●水賊充斥　昨有進口船戶云時下本埠口外有賊船五六隻遇有來往小船即前槍劫有往埠外打魚網船四隻皆被賊船刼去漂泊海洋爲賊所脅實於來往行船諸多窒礙云

●赶會失兒　昨午前有鄉村老嫗年近知命帶領子女至天后宮祈禱燒香行至戲樓後忽被多人擁擠將十歲男孩丢失漏覓多時竟無踪影該嫗痛哭而去不知如何尋訪云

●漁業難興　昨聞進港販魚人云今春海市產魚之期其網船販船全爲極苦常年凡網販船散碇於海天產魚之區任便交易今年被魚業公司缺兩小輪船上載槍砲兵隊沿海徧驅網販船等於南小圈一帶脅以納捐網船每隻捐洋九十元販船每隻捐洋四十元船最小者或消減少每給一龍旗標插船頭外有旗錢壹元旗書滿利公司蓋此利欵歸於清也據船夫云該捐吏等性多暴烈立要納捐金越日即行倍罰或有求緩減者即被極擊竟使網船受困多誤捕魚之期均未得利云

●居民感頌　本埠第四派遣所憲兵崎野君所管地面御衆以寬教民時愼衞生屋院勸要掃除潔淨從未忍加極責民情感激咸出純誠敬備頌德銀牌壹面用表感忱奈恐該君决辭反使衆情莫遂故衆民等轉思叩請監督大人俾上峯一言野君或可納受民等得遂感戴之忱實爲幸甚衆意如此未悉已稟陳其事否

●開花引蝶　昨午後有一少婦年二十餘姿容秀美行動風流在天后宮院內以燒香爲名往返游觀實同賣俏適有年少游人即以目送情當有某號之外櫃七八人見其態度輕狂共前嘲笑適有巡捕在側大聲喝住衆人亦覺無顏相率而去云

●覆答來函　昨接東盛和來函內稱與玉昌棧王東門毆致傷並非該號葉東之子係用十金買得給使左右之人然本報云非葉姓子自屬不誤故急爲更正以免損人名譽與其事眞僞經渭離清合登報端以告本埠之知其事者

●近日行情　妥出現價豆油價洋八元九角共妥千餘簍河備元四七兩三錢五分共妥三千石火車元豆七兩四錢

叢談

●逗平新機之發明　機輪一種自重學發明以來百餘年間亦已屢變始爲明輪繼爲暗輪皆支配於水汽時代者而近日又新得一種名曰逗平新機輪超出明輪暗輪之上其出也亦適於電氣時代蓄電氣之靈捷較蒸水之汽勝之甚遠今新機輪之製出者其總數有八十萬匹馬力英國某廠之定造者又有二十五萬匹馬力別有一廠已用新機輪作工有五萬匹馬力在該廠定造者亦二十五萬匹馬力每一新機輪大者一萬匹馬力小者六千五百匹馬力以後或能更大於此數其機之善在佔地不多無爆裂之險無震撼之患而速率更大一千八百九十七年英君后維多利亞之金鋼節期爲第一次試驗時各國砲船集於奧斯奔行宮外用逗平新機輪之船特繞各砲船一周每小時行三十四海里半

NEWCHWANG, WEDNESDAY, MAY 23, 1906.

The Committee of the Newchwang Chamber of Commerce met together at noon last Monday. In absence of Mr. H. A. Bush, Chairman, Mr. Ross-Thomson, Vice-Chairman, presided. Nothing difinite having been heard get from the Consular Body with regard to the questions of Dalny and the harbour limits, very little of particular moment was done at the meeting.

Mr. and Mrs. Ross-Thomson, Mrs. Fawcett, and Mr. C. G. Bush were passengers on board the s.s. "Ichang" putting out of port yesterday afternoon about 2. The Newchwang party are bound for Lungkow whence they will return by next Saturday.

We understand that the annual general conference of the Manchurian Mission of the Scotch and Irish Presbytery is to be held on June 6th at Newchwang.

Rev. Mr. Pullar of Mukden and his family are expected dowu here this week-end.

Mr. M. Odagiri, General Manager of the Manchurian Department of the Yokohama Specie Bank returned yesterday from a prolonged journey in the interior.

Mr. Onuki, Assistant General Mauager, had preceded him by a day.

Mr. Y. Hongo, Accountant of the Newchwang Branch, has been for a few weeks at Liaoyang, perfecting arrangements for the opening of an agency there early next month.

The arrivals at the "Manchuria House" on the 21st inst. were Messrs. J. P. Patterson, L. Midwood, H. de Gray, T. Marten, and C. W. Wrightson, all from Shanghai.

The Chinese postal service in the interior of South Manchuria has been practically restored to normal working order by the impending addition of the offices at Hsiung Yo (熊岳), Wafangtien (瓦房店), and Fuchow (復州) to the long list of those that have been already re-opened.

The three offices mentioned are to be opened to business to-morrow (Thursday).

Mr. Mullen, postal officer, came back from Liaoyang last evening.

The first shipment of the 5 Australian horses arrived by the s.s. "Kalgan" last Monday and were received into Messrs. Bush Bros.' stable. They were all found in excellent condition after the long voyage, but will not, we understand, be offered for sale before a week or 10 days has passed.

As previously noticed, there are 1 mare and 4 geldings, all of which will serve splendidly for riding or driving purpose.

THE LATEST TOKYO TELEGRAMS.

The German Ambassador Baron von Mumm proceeded to the Imperial Palace yesterday to present his credentials, and will have an audience of H.I.M. the Emperor to-morrow to be entertained later at a dinner.

A celebration was held at Nagoya on the 20th inst. over the attainment of Japanese railway to 5,000 miles in total length. Over 1,000 attended. Tributes of homage were paid to the revered memory of Prince Iwakura, Vice-President of the Imperial Council, Gen. Kawakami, Chief of General Staff, and a few other great patrons of railway enterprise. An address of eulogy was read in honour of Marquis Ito, Count Okuma, and Viscount Kano. The exercises were concluded with 3 cheers for H.I.M. the Emperor led by Viscount Kodama.

Lt.-Gen. Tachimi, Oshima, Oseko, and Terauchi will be shortly promoted to full generals.

M. Victor von Grosse, the Russian Consul-General at Yokohama was due at his new post last Monday.

Mr. Kawakami, Commercial Agent at Vladivostock, arrived at the northern port on the 18th inst., and has taken over charge of Japanese interests there from the American Consul in whose care they had been entrusted.

The Japanese battleship "Katori" just completed at the Barrow Dock Yard was handed over on the 20th inst. to the Japanese commission dispatched there to take delivery of her.

H. E. Viceroy Yuan Shih Kai has drawn up the regulations governing the prohibition of opium-smoking which will be soon promulgated.

The Bank note is quoted at Y. 1.03 of gold yen.

The advance is so sharp that the quotations in Japan, London, and America remain nominal for the present.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥貫迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉較之取購本處者其價目格外公道　貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

御引立の程偏に御願申上候

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　元神廟街九十六號（電話八四番）　第一樓（營口ホテル）

料理　永世街百八十三號　入船亭　谷　初次郎

御料理並ニ温泉　毎日新湯　營口永世街　一力　店主　堀　万助

旅館　日營ホテル　店主　井上　源吉

料理　永世街八十六號　東京館　店主　村上京四郎

旅館　西北街百七十三號正金銀行西三程　東茂旅館

料理　元神廟街百三十三號　千鳥　店主　吉住善藏

料理　永世街百六十四號　沖の島　店主　中川清三郎

料理　永世街八十六號　吉野亭　店主　坪田正好

旅館料理　西北街（電話一四五番）　高砂ホテル
高砂亭　店主　片山小みつ

旅館　永世街三十四號（電話十一號）　大和館　店主　前田九一郎

料理　南永世街第十號　滿洲樓　店主　直塚勝一

料理　營口新市街第百〇四號　萬梅　店主　田島清助

料理　永世街字二本町三百五十九号　まんなをし　店主　和田常松

和洋料理　南永世街　公樂園

旅館料理　永世街百六十六號　金城ホテル
第二金城ホテル　店主　齋藤富次郎

料理　永世街百二十七號　醉花園

旅館　澁谷旅館　店主　澁田留吉

料理　營口平野町　喜樂亭

旅館　永世街七號　東雲旅館　店主　谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　營口元神廟街
さるそば　第二更科　永世街橋の際角

和洋料理　營口元神廟街一四三號　松月亭　仕松信太郎

料理　平野町　都樓　店主　坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　奉天小西關大街北側　瑞豐館　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　温泉付大勉強キレーヲライレと　奉天小西關大街北側　天神樓（電話　號）

旅館料理店　奉天小西關大街南側　日盛館　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　奉天城内灰市街東華門宮殿東側　梅松館　館主　押尾富次郎（電話　號）

御料理　奉天小西門より一丁西の辻北入　梅ヶ枝　館主　辻井ムメ

高等御旅館　奉天小西關大街路北　茂林館（電話二十五號）

旅館料理店　奉天小西關大什字街南へ入　日章館
牛肉すき燒　雞肉　日章亭（電話　號）

旅館料理店　奉天大西關　旭館本店
奉天十間房　旭館支店　館主　原田新吉（電話　號）

御旅館　奉天小西門外大街路北　瀋陽館

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　菊水館　主任　朝枝園鎚

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之丞

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　遼陽東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任　西野怡三郎

和洋料理御旅館　遼陽西門[illegible]七號　滿洲ホテル　上松榮治郎

御料理
滿月　平野町（電一六二）
滿月支店　平野町青木入口　主　勝憲

奉天　天然清水氷發賣廣告
倉庫　儲　二十五万斤　每倉庫約
特約　一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外内　大仁洋行

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門内景祐宮胡同　本社支局
鐵嶺南門内　東雙泰
安東縣新市街　東華公司
新民府　泰東公司

右之者同業組合員に對し物品代金不拂に付組合規約に依り爾後組合員中は該人と取引を遮絶す
明治三十九年五月
長曾龜之進
岩尾伊助
營口材木商組合

一和洋御料理　遼陽城内東街　遼東館
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館御料理　扶桑館
奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル　電話　号

和洋會席御料理
弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

DIVING
INOUYE & CO.
Engaging to the work on the wreck of the "Yatsunamaru."
No. 166 Yuwansinmiao, Yingkow.

井上組潜水部
現今八綱丸引揚作業中傍ら一般潜水作業の需に應ず
元神廟前一六六號

質屋營業
精々勉強御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街憲第三十六號　北斗洋行質屋部

產婆　營口永世街甲第百〇三号第二市場停車場西側　川口榮子

北支那叢書　第壹編　支那政府組織　全　定價一圓
清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ
軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ
販賣所　營口重盛街　滿洲日報社

各國高等雜貨　電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
營口永世街　川友洋行雜貨部

新荷着

高等麥酒スペシヤルライト
スペシヤルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

（營口永世街）
回天堂三木大藥房
存案招牌　天
經營項目
各種靈驗丸散膏丹
東西兩洋各種藥材
各樣玻璃瓶子
各種繪具染料
消毒及繃帶材料
肥皂（胰子）牙粉香水等貨
醫化諸學所用機器
照相所用藥料及機器
外醫藥應用所有一切各貨應俱全
（電話百九十番）
凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤尚此佈告

爲替相場（五月二十二日）
日本向　百〇二圓五十錢（覽票百圓に付）
上海向　七十二兩四分ノ一（同）
天津向　一百〇三圓八（同）
芝罘向　一百〇三圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價表　加藤洋行
紙類
一〆　半紙　二圓九十錢より三圓廿錢
一全　美濃紙　七圓五十錢
一帖（六十枚）　仙花紙　六十錢

一全　状袋　二十枚續　三錢二厘以上四錢
一　百枚　十三錢以上十八錢
室内裝品飾及寢具　矢野洋行
一　清圖三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一　座ブトン十帖　八圓五十錢以上三十五圓

一全　疊表　二圓六十錢以上三圓
一　薄縁　十枚　八圓
一　麻緣通　三圓
一　白綿緣通　三圓五十錢
一全　疊敷

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚　二仙　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙